

平成16年10月19日

独立行政法人 情報処理推進機構
未踏ソフトウェアグループPM推薦担当

「未踏ソフトウェア創造事業」
プロジェクトマネジャー候補のご推薦について

拝啓

当機構は平成16年1月5日をもって独立行政法人 情報処理推進機構となり、新生IPAとして、新たなスタートを切ったところであります。

新生IPAは2008年3月末までの4年3ヶ月の間、『創造』、『安心』、『競争力』を基本理念とする中期目標に従って、今まで以上に事業への責任を持ち、効率的かつ効果的な業務を進めていくことが重要なミッションと考えております。

さて、当機構では、平成12年度から我が国のソフトウェア分野において優れた能力を有する開発者(いわゆる天才プログラマー/スーパークリエイター)を発掘・育成するために、「未踏ソフトウェア創造事業」を実施しています。本事業は、情報技術分野における有識者からなるプロジェクトマネジャー(PM)の眼力によって、開発プロジェクトの提案を評価し、PMの指導のもとに開発目標を定めて成果を求める事業です。当初5ヶ年度の計画で実施して参りましたが、平成17年度以降も事業を継続して実施する予定であります。

本事業の要となるPMについては、平成17年度事業の準備を進める上で、速やかに人選を行う必要があります。PMの選任に当たっては、従来から、広く有識者の方よりPMをご推薦頂き、その中から新たなPMを選任することとしております。また、昨年から広く一般の方からもPM候補のご推薦を頂いております。

つきましては、下記をご一読の上、PM候補として適任と考えられる方をご推薦(自薦及び他薦)頂きたく、よろしく願いいたします。ご推薦にあたりましては、別紙の推薦書に候補者および候補者に関する必要事項をご記入の上、10月26日(火)までにFAXあるいはメールにてPM推薦担当宛てご返送いただきたくよろしくお願い申し上げます。ご推薦いただいた個々の内容については「未踏ソフトウェアグループPM推薦担当」から外部へ出ること、また、本目的以外で使用することはありません。

なお、プロジェクトマネジャー(PM)は産学の有識者をお願いすることとしており、産業界の候補も積極的にご推薦頂ければ幸いです。

また、今後の未踏事業の事業運営の改善とさせて頂くために、可能であれば、未踏ソフトウェア創造事業について、あなたのご意見をお聞かせください。

敬具

記

1. 事業趣旨

我が国におけるIT分野の成功事例をみると、ゲームソフトウェア分野や携帯電話など独創的な技術で世界をリードする分野がみられるものの、その数は少なく、ソフトウェア関連分野で独創的な技術やビジネスシーズを有した人材の発掘は経済産業政策上ますます重要な課題となっています。

このため、当機構では、政府の進めるミレニアム・プロジェクトの一環として、平成12年度から、未踏ソフトウェア創造事業を実施しています。

本事業は、法人や団体を対象に行っているソフトウェア開発支援事業とは異なり、我が国の情報技術分野の中で得意とする分野を持つ産業界・学界の有識者からなるプロジェクトマネージャー（PM）が、企業や大学、国の研究機関に勤める、あるいはフリーで活躍するソフトウェア技術者からの提案をPM個人の眼力によって評価し、独創的ですがすぐれた能力を有する開発者（いわゆるスーパークリエイターの卵）を発掘し、開発者の能力に応じたPMの指導のもとに開発成果を得ることを目的に事業を実施しています。

2. 事業目標について

新生IPAにおいて本事業は、中期目標期間中に50人以上のソフトウェアに係る独創的な技術やアイデア等を有する天才/スーパークリエイターの発掘等を目標としています。

これら目標達成のためには、多くの方に事業に従事していただく必要があり、また多くのご意見を頂戴しながら事業の運営に取り組んでいくことが重要と考えます。

また、この事業運営については、随時公募（年2回（上期、下期）採択）を行っております。

3. 現プロジェクト・マネージャー（敬称略）

石田 亨 京都大学大学院 情報学研究科 教授
伊知地 宏 ラムダ数学教育研究所 代表
鵜飼 文敏 日本ヒューレット・パッカート株式会社
ヒューレットパッカート研究所 主幹研究員
梅村 恭司 豊橋技術科学大学 情報工学系 教授
加藤 和彦 筑波大学 電子・情報工学系 助教授
坂村 健 東京大学 大学院情報学環 教授
中島 達夫 早稲田大学 理工学部コンピュータ・ネットワーク工学科 教授

Alan Kay(アラン ケイ) President, Viewpoints Research Institute
酒井 裕司 株式会社イグナイトジャパン ジェネラルパートナー
長尾 確 名古屋大学 情報メディア教育センター 教授
中島 秀之 公立はこだて未来大学 学長
原田 康德 NTTコミュニケーション科学基礎研究所 主任研究員

平成17年度もPMを
継続していただく方々

4. 審議委員会

委員長 長尾 真 独立行政法人情報通信研究機構 理事長

委員 新本 孫宏 シャープ株式会社 常任顧問

委員 佐野 稔 弁護士

委員 土居 範久 中央大学理工学部 教授

委員 松崎 稔 株式会社日経BP 上級執行役員 (敬称略)

5. 公募事業の概要

未踏ソフトウェア創造事業の事業概要については、

URL (<http://www.ipa.go.jp/about/jigyoshokai/mito.html>) をご覧下さい。

また、各年度の事業内容については未踏ソフトウェア創造事業のホームページをご覧下さい。

6. PMとIPAとの契約形態

PMはIPAの非常勤参与として活動して頂きます。IPAからは年度ごとに参与発令を行い、それに従ってPMの人件費(給与)が支払われます。

PM事務経費についてはIPAとPM及びPMをサポートする法人との三者契約(委託契約)を行い、実績に応じて経費が支払われます。

7. 天才/スーパークリエーター輩出数(担当PMの評価より)

	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度
「天才/スーパークリエーター」	12件(12名)	11件(15名)	8件(8名)	18件(19名)
「ある程度期待に応えた者」	30件	40件	52件	61件
「その他」	13件	20件	14件	11件

8. PMが果たすべき責務

PMは未踏事業の趣旨である、「スーパークリエータの発掘と育成」を充分理解して頂いた上で独自の眼力により公募から、採択、開発者の指導育成、開発成果の評価まで責任をもって取り行っていくことになると思います。

具体的には主に以下の作業を行うこととなります。

公募要領(テーマ)の策定

応募分野を定め、採択基準や評価するポイントを明記して頂きます。また、PMが採択プロジェクトの開発者に対して何が出来るか、どのような指導育成を行うかも謳って頂きます。

応募案件の審査と採択案の提出

公募時に公開した採択基準に従って公正な審査をして頂きます。採択案についてはIPAにて審議を行った上で採択決定となります。

採択プロジェクトの指導育成

採択されたプロジェクトについて開発者の能力に応じた開発目標を定め、その目標に向けたマネージメントを行っていただきます。具体的には公募時に謳った指導育成方法を実践して頂くこととなります。

開発成果の評価

開発期間終了後には個々のプロジェクト成果を評価するとともに担当プロジェクトの事業

総括をして頂きます。個々の開発成果の評価を行う上で特に優れた人材については「スーパークリエータ」の選定を行うとともに、その選定基準を明確にして頂きます。

また、可能な範囲で開発期間終了後も開発者に対して、開発成果の活用方法などのアドバイスをお願いしています。

9. PM候補の条件

次の条件を満たすこと。

我が国の情報技術分野で得意とする分野を有する人。

(学界、産業界どちらでも結構。)

情報技術分野での研究、開発又はビジネス経験を併せて10年以上有した人。できれば年輩の人よりも若手の人。

一定の時間を割いて本事業に注力していただける人。

開発者の相談に開発者の立場に立って迅速に応えられる人。

以下について自ら作業が行える人。

.開発プロジェクトの提案書を審査できる人。

提案書の審査数(1PM当たり)...15年度実績では、平均25件、最大53件。

16年度第1回の実績では、平均27件、最大63件。

.開発プロジェクトの開発方針についてアドバイスをを行い、開発目標を定められる人。

.開発プロジェクトの実施において、進捗状況の把握に努められる人。

任期は、原則2年半とする。

10. PM候補の専門分野カテゴリ

下記の専門分野カテゴリの記号を別紙推薦書に記入願います。

記号	専門分野カテゴリ	具体的な範疇
A	開発の根幹にかかる技術	OS、組み込みOS、プログラミング言語、開発ツール・手法など
B	見た目や入出力にかかる技術	画像処理、圧縮技術、3D、動画、音声処理、ウェアラブルコンピューティング、MMIなど
C	複数のコンピュータを見据えた技術	ネットワーク技術、データウェア、Webアプリケーション、グリッドコンピューティングなど
D	オープンソースに関する技術	Linux やその他のアプリケーションも含めたオープンソースに対する技術
E	ビジネス/ベンチャーに関する知識	起業や商品化に対する知識、経験
F	その他	上記以外で、本事業の主旨に有用な専門分野

11. 平成17年度のスケジュール予定【随時公募、年2回採択】

上期公募審査

1月中旬 公募開始	公募要領の策定 (公募対象分野、PMとして何ができるか明記。)
3月末 提案書応募締め切り	
4月中旬～5月下旬	提案書を全て審査し、採択理由、不採択理由の作成。
6月上旬 プロジェクト開始	開発目標の策定(開発者に対し、指示。)
6月～2月	適宜、進捗管理
2月下旬 プロジェクト終了	開発プロジェクトの評価

下期公募審査

4月上旬 公募開始	
7月下旬	公募要領(上期公募審査用)の修正
9月末 提案書応募締め切り	
10月～11月下旬	提案書を全て審査し、採択理由、不採択理由の作成。
12月上旬 プロジェクト開始	開発目標の策定(開発者に対し、指示。)
12月～8月	適宜、進捗管理
8月下旬 プロジェクト終了	開発プロジェクトの評価

12. 連絡先

独立行政法人 情報処理推進機構

基盤ソフトウェア開発部 未踏ソフトウェアグループPM推薦担当(mito-pms@ipa.go.jp)

〒113-6591 東京都文京区本駒込2-28-8
文京グリーンコートセンターオフィス16階
TEL 03-5978-7507
FAX 03-5978-7517

なお、PMの選定結果につきましては、未踏ソフトウェア創造事業の公募開始(平成17年1月頃予定)と同時にWeb上にて公表させていただきます。

以上